

六ツ美南部学区 災害対策本部行動マニュアル

<https://www.mutsumi-nanbu.com>

N:防災資料

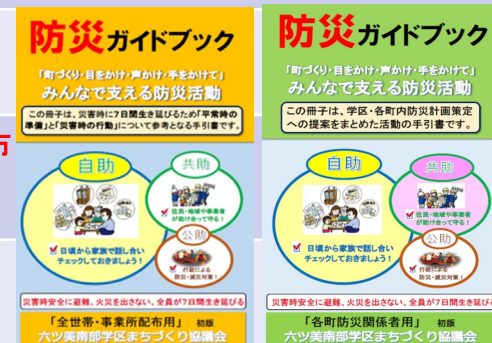
N03 学区災害対策本部行動マニュアル

No9b 学区災害対策本部行動マニュアル説明PPT

活動経緯と背景

六ツ美南部学区での防災活動経緯

年度	活動内容
平成28年度(2016) まちづくり協議会 (ビジョン委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・総代が1～2年で交代するため継続的な議論ができない、学区全体を考える委員会を設立 ・「岡崎市地域協議推進事業補助金」を活用 ・学区として何が必要か、有るべき姿(中長期テーマ)を議論 ・中長期テーマについて要望を協議会でまとめ、総代会長より市へ要望 ・総代会、社教委員会の意見で次年度から「災害に強い町づくり」を目指すことに決定
平成29年度(2017) 災害に強い町づくり委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・震災・水害時の対応項目と平常時の対応項目を抽出 ・六ツ美南部学区の震災・水害時の被害想定をまとめる
平成30年度(2018) 災害に強い町づくり委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ガイドブック:「全世帯・事業所配布用」(橙色)の作成・配布 ・防災ガイドブック:「各町防災関係者用」(緑色)の作成・配布 ・学区内事業所と防災についての協定締結
令和元年度(2019) 災害に強い町づくり委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「行動マニュアル」の骨子を作成 ・モデル町で「災害時(防ぎよ隊)行動マニュアル」の作成・配布 ・モデル町:境、後屋敷、八幡、上側、正名二軒屋、中村 ・モデル町を参考にモデル町以外の7町で「災害時(防ぎよ隊)行動マニュアル」の作成準備
令和2年度(2020) 災害に強い町づくり委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「六ツ美南部学区災害対策本部行動マニュアル」の作成・各町配布 ・モデル町以外の6町で「災害時(防ぎよ隊)行動マニュアル」の作成・配布 ・モデル町以外の6町:小園、高畑、本町、安藤、定国、国正 ・新町は2020年度に作成準備を行い、2023年度に作成・配布 ・正名新町と上側新町はマンション管理組合で取り決めがある。
令和3年度(2021) 防災委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・総代会の下部組織として、新たに防災委員会を設置し、組織改編 ・婦人自主防災クラブ、消防団、女性部が新たに参画 ・「行動マニュアル」を検証するために、防災訓練を計画・実施 ・「行動マニュアル」の改善点を抽出 ・災害対策本部用の備品購入・整備
令和4年度(2022) 防災委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「行動マニュアル」を検証するために、防災訓練を計画・実施 ・「行動マニュアル」の改善点を抽出 ・災害対策本部用の備品購入・整備



学区防災関連マニュアルと資料

資料名

防災ガイドブック:2018
「全世帯・事業所配布用」(橙色の表紙)
各家庭向けの防災マニュアル(自助)

防災ガイドブック:2018
「各町防災関係者用」(緑色の表紙)
学区 & 各町災害防ぎよ隊向けの基本行動マニュアル
(共助)

六ツ美南部学区災害対策本部行動マニュアル:2020

各町災害時行動マニュアル:2019、2020

各町防災マップ:2016以前

防災ガイドブック

「町づくり・目をかけ・声かけ・手をかけて」
みんなで支える防災活動

この冊子は、災害時に7日間生き延びるため「平常時の準備」と「災害時の行動」について参考となる手引きです。



災害時安全に避難、火災を出さない、全員が7日間生き延びる

「全世帯・事業所配布用」 初版
六ツ美南部学区まちづくり協議会

防災ガイドブック

「町づくり・目をかけ・声かけ・手をかけて」
みんなで支える防災活動

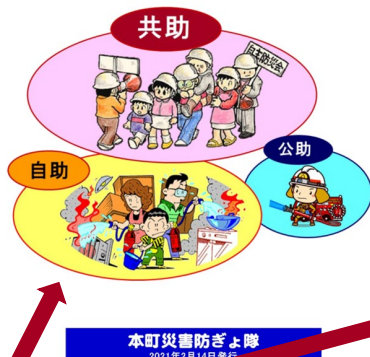
この冊子は、学区・各町内防災計画策定への提案をまとめた活動の手引きです。



災害時安全に避難、火災を出さない、全員が7日間生き延びる

「各町防災関係者用」 初版
六ツ美南部学区まちづくり協議会

六ツ美南部学区 本町災害時行動マニュアル



中島町本町内会 防災マップ



六ツ美南部学区 災害対策本部行動マニュアル

災害時の行動と平常時の準備



災害時安全に避難、火災を出さない、
全員が7日間生き延びる

「学区災害対策本部役員用」
六ツ美南部学区まちづくり協議会

六ツ美南部



検索

<https://www.mutsumi-nanbu.com>

東京都防災関連マニュアル

東京防災:2015

30年以内に70%の確率で発生すると予測されている首都直下地震。あなたは、その準備ができていますか。東京には、さまざまな災害リスクが潜んでいます。東京の多様な地域特性、都市構造、都民のライフスタイルなどを考慮してつくられた、**完全東京仕様の防災ブック**。本書には、知識をつけるだけでなく、今すぐできる具体的な“防災アクション”を多く掲載しています。もしものときに備えて、身を守る力をつけましょう。



¥130

¥328

東京くらし防災:2018

女性目線の防災マニュアル(主人公は3人の女性) 防災でいちばん大切なことは、命を守ることです。東京に大地震がくる。その日に備えて何か行動を起こしていますか? 「具体的な方法がわからない」という理由で災害の対策をしていない人もいるのではないのでしょうか。そんな人に防災をはじめてほしくて、「東京くらし防災」は生まれました。

六ツ美南部  検索

<https://www.mutsumi-nanbu.com>



岡崎市防災関連マニュアルと資料

岡崎市防災関連マニュアル

自主防災組織活動マニュアル

自主防災組織による訓練等マニュアル 2021

小学校区別防災カルテ
六ツ美南部小学校区 2015(被害想定)

水害対応ガイドブック 2020

地域防災計画 I (地震編) 2019

地域防災計画 II (風水害編) 2019

地域防災計画 III (附属資料) 2019

地区防災計画策定マニュアル 2019

南海トラフ地震被害予測調査報告書 2015

避難所運営マニュアル(地域版) 2021

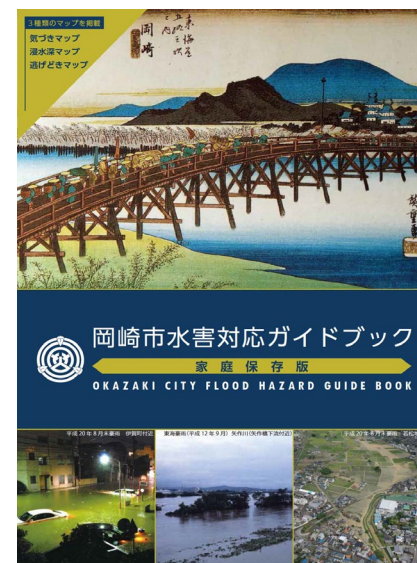
避難所運営委員会の業務 2021

避難所運営委員会の業務 リーフレット集 2021

避難所運営委員会の業務 様式集 2021

防災ガイドブック 2015

矢作川避難計画 2021



六ツ美南部



検索

<https://www.mutsumi-nanbu.com>

過去の災害（参考事例）

阪神・淡路大震災（1995年1月17日、マグニチュード7.3）

- ・最大震度7.0、死者：6,434人、負傷者：43,792人（重傷者10,683人）、火災による死者：400人以上、全壊家屋：105,000棟、半壊家屋：144,000棟、ガス停止：約86万戸、停電：約260万戸、電話不通：約30万戸
- ・自衛隊派遣要請が遅れた（神戸市長：各町からの被害報告がなかった）
- ・閉じ込められた人の95%が家族・近隣住民に救出された
- ・淡路島では「共助」により死者0



東日本大震災（2011年3月11日、マグニチュード9.0）

- ・最大震度7.0、死者：15,467人、行方不明者：7,482人、負傷者：5,388人、救出総数：26,707人
- ・全壊家屋：103,981棟、半壊家屋：96,621棟、一部損壊：371,258
- ・自衛隊派遣：107,000人、警察庁緊急援助隊：51,600人、消防庁緊急消防援助隊：28,620人
- ・海上保安庁：1,792人、巡視船艇等5,284艇、航空機1,869機
- ・米軍支援：人員最大24,000人、艦船24隻、航空機189機（トモダチ作戦）



鬼怒川（きぬがわ）決壊（2015年9月10日）

- ・常総市（じょうそうし）三坂町で堤防決壊、若宮戸（わかみやど）など7か所で溢水
- ・床下浸水3,385件、床上浸水168件、全壊54件、大規模半壊1,649件、半壊3,574件
- ・常総市の人口63,000人の内約4,000人が孤立
- ・公助は機能せず自衛隊による救出。
ヘリコプター救助：1,339人、地上部隊救助：2,919人



阪神淡路大震災

地質学者の警告は無視され、「安全」という虚偽宣伝にもとづく都市計画が推進された。

度重なる警告を、神戸市と兵庫県は無視し続けた・・・1972年には、大阪市立大と京大のチームが、「神戸と地震」と題した報告書をまとめ、神戸に都市直下地震が起こる恐れを指摘。なお、東日本大震災においても、地震学界が巨大地震が来るといい、福島原発の安全を審査する委員会でも869年の大震災の再来が考えられるという指摘があったにもかかわらず、政府も責任諸官庁も、福島県も東京電力もそれを無視していた。

出典：阪神大震災から21年を経過し、3月には東日本大震災の5年目の3.11がやってくる。

黙殺されていた自衛隊の共同訓練の呼びかけ

多くの自治体は、毎年9月1日の防災の日には自衛隊との共同訓練を行い、日頃から密接な連携を築く努力をしている。ところが兵庫県は、自衛隊が日頃から共同訓練や連絡調整を呼びかけても、「結構です」と拒否していた。

出典：JOG(020) 阪神大震災：真実は非常の時に現れる



阪神淡路大震災

当時の神戸市長（故・宮崎辰雄氏）は「神戸は地震に強い街ですよ。地盤も花崗岩だし、いざとなったら山へも海へも逃げられる」と宣伝していた。

出典：神戸新聞NEXT | 連載・特集 | 阪神・淡路大震災 | 震災17年目 | 想定を問う 不作為の連鎖 災害列島に生きる |

当時の市長は誤った認識のもと、都市計画を進めた。震災当日は「迎えの車が来ないから」と自宅待機をしていた。

兵庫県知事が自衛隊に出動要請したのは、地震から4時間以上経った10時であった。その2時間前の8時10分には、逆に自衛隊側からの要請督促があったが、兵庫県知事は、なぜか出動要請を遅らせた。

約2万6千人の中部方面隊は、地震発生から43分後には（6時半）「部隊の全部を行動可能な態勢に置く」という第三種非常勤務態勢に移っていた。

中部方面隊：東海・北陸・近畿・中国・四国の2府19県を担当。37駐屯地。直近は伊丹駐屯地。神戸から24km（43分）。



自衛隊は、被害を正確に予測し、関西地区の各自治体に協議を提案していた。

自衛隊は、京阪神地域で震度5～6の地震を想定して、被害状況を推定する調査書を作成していた。それによると、特に神戸市などは木造家屋の密集している地域が多く、建物の倒壊と火災により兵庫県全体で被災者38万5千人と予測している。阪神大震災の被災者数は31万6千人であり、大災害は正確に予見されていたのである。自衛隊はこの調査書をすぐに関西地区の各自治体に直接持ち込み、協議を提案したが、黙殺されている。

出典：阪神大震災から21年を経過し、3月には東日本大震災の5年目の3.11がやってくる。

岡崎市防災課見解・熊本地震復旧状況

岡崎市防災課見解:2017

- ・広域災害(南海トラフ地震、東海地震、東南海地震)時には、公助が機能しない。
- ・7日間**は自助・共助で生き延びて欲しい**
- ・広域災害が起きた場合には、救急車は25,000人に1台、消防車は:11,000人に1台の割合となるため**呼んでも来ないと考えられる**
(2022年4月1日時点の、人口:384,996人、救急車:15台、消防車(含特殊車両:34台)
- ・過去の災害例から上下水道、電気、電話(固定・携帯)、LPガスなどの普及には最低4~7日程度かかる

熊本地震(2016. 4/14)における復旧状況

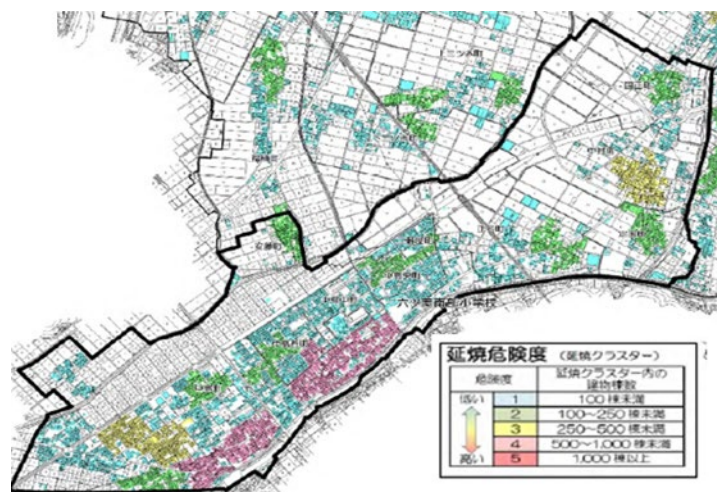
項目	復旧日	影響	項目	復旧日	影響
電気供給	~4/28(2W)	47万戸	一般国道	4/16(1.7W)~4/29	
ガス供給	~4/30(2W)	10万戸	応急仮設住宅建設	~11/4(6M)	4,303戸
水道供給	4/26(1.7W)~5/25	1万戸	簡易トイレ設置	4/20(6D)	2,750台
高速道路	4/16(2D)~5/9		ブルーシート配布	4/28(2W)	15,000枚



地震による南部学区の被害想定

地震による被害想定：震度6強

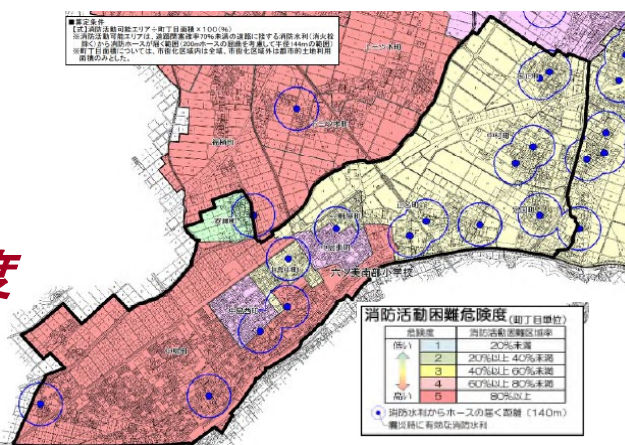
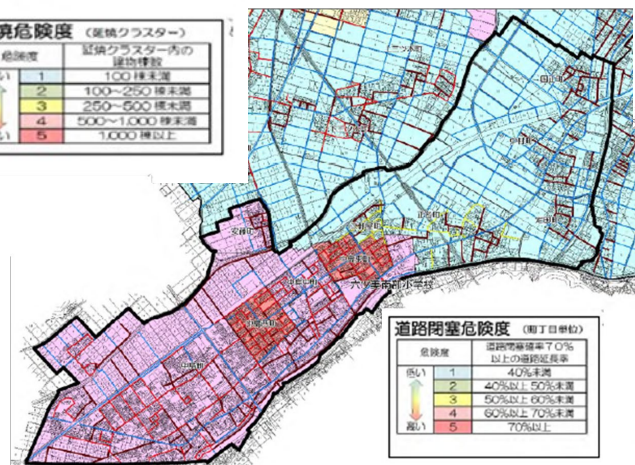
- ・重傷者数50～105人、軽傷者数1050人、(死亡者数11人)、建物倒壊1050棟、延焼建物数500棟
(推定根拠の詳細は防災ガイドブック(緑色表紙)の4頁を参照)
- ・インフラの復旧は過去の災害から想定、4日～14日
- ・六ツ美南部学区建物数：7023棟、昭和56年以前の木造家屋：2155棟(震度6強では倒壊の可能性高い)
- ・延焼危険度5(最大、旧県道43号線沿い)、道路閉塞危険度4～5、消防活動活動困難危険度5
- ・災害時火災を発生させない行動が重要(ガス、電気の遮断)
- ・南部小学校の収容能力：校庭4,700人(人口11,000人) 体育館：一般、73家族(146人)



延焼危険度

出典：小学校区別防災カルテ
六ツ美南部小学校区
2015

道路閉塞危険度



消防活動困難危険度

出典：南海トラフ地震被害
予測調査報告書 2015

六ツ美南部学区 災害対策本部行動マニュアル

マニュアルの構成

- ・六ツ美南部学区災害対策本部行動マニュアル
- ・六ツ美南部学区災害対策本部行動マニュアル添付資料

- a 被災関連報告書 20201127
- b 指定避難所関連書類 20201127
- c 指定避難所レイアウト 20230623
- d 指定避難所関連ステッカ 20201127(PPT)
- e 防災備品リスト 20230622
- f 学区防災委員会備品リスト 20230623
- g 指定避難所関連ステッカA4横 20230728
- h 指定避難所関連ステッカA4縦 20230729



指定避難所関連ステッカ



マニュアル表紙

a : 被災関連報告書

被災状況報告書 各町から

_____ 殿

地区(町)名 _____
 代表者名 _____
 連絡先 _____

報告年月日 令和 年 月 日

発生時の状況及び被害状況等	
災害等発生日	令和 年 月 日 ()
災害の種類	<input type="checkbox"/> 台風 <input type="checkbox"/> 暴風 <input type="checkbox"/> 大雨 <input type="checkbox"/> 洪水 <input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> その他 ()
人的被害の状況	<input type="checkbox"/> 死亡者あり (人) <input type="checkbox"/> 負傷者あり (人) <input type="checkbox"/> 被害なし 被害状況の詳細
建物被害の状況	<input type="checkbox"/> 重大な被害あり (箇所) <input type="checkbox"/> 軽微な被害あり (箇所) <input type="checkbox"/> 火災あり (件) <input type="checkbox"/> 被害なし <input type="checkbox"/> 公民館使用可 <input type="checkbox"/> 公民館使用不可 被害状況の詳細
ライフラインの状況	<input type="checkbox"/> 主要道路 通行不可 箇所 <input type="checkbox"/> 生活道路 通行不可 箇所 <input type="checkbox"/> 橋(主要道路) 通行不可 箇所 <input type="checkbox"/> 水道(メイン配管)管水漏れ 箇所 <input type="checkbox"/> 電柱破損 本 <input type="checkbox"/> 停電 軒 <input type="checkbox"/> ガス漏れ 箇所 被害状況の詳細
飲料水 食料の状況	<input type="checkbox"/> 定期的に充分確保できている <input type="checkbox"/> 2~3日以上確保している <input type="checkbox"/> 2~3日以上確保している、その後は支障がある <input type="checkbox"/> 今日の確保にも支障がある
支援の要否 及びコメント	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要 支援の詳細

電話・FAXが使用できない場合は持参して下さい。連絡先の電話は毎年更新して下さい

連絡先 岡崎市災害対策本部 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
 六ツ美南部学区災害対策本部 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
 六ツ美南部小学校 TEL : 0564-43-2105 FAX : 0564-43-1370

受信者

被災状況報告書 事業所から

六ツ美南部学区災害対策本部 殿

事業所(施設)名 _____
 管理者名 _____

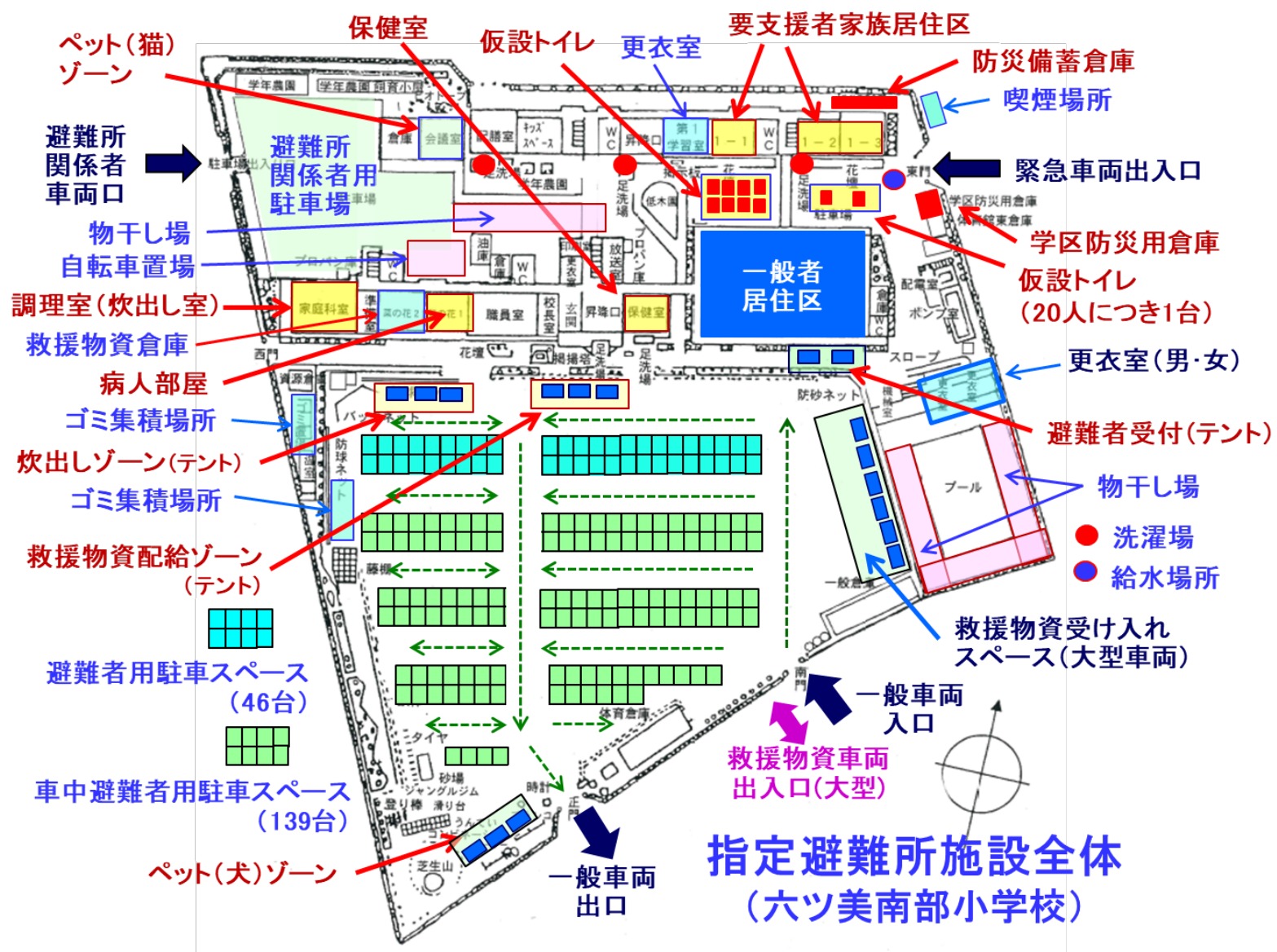
報告年月日 令和 年 月 日

事業所の概要	
法人名	
代表者名	
連絡先	
発生時の状況及び被害状況等	
災害等発生日	令和 年 月 日 ()
災害の種類	<input type="checkbox"/> 台風 <input type="checkbox"/> 暴風 <input type="checkbox"/> 大雨 <input type="checkbox"/> 洪水 <input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> その他 ()
人的被害の状況	<input type="checkbox"/> 死亡者あり (名) <input type="checkbox"/> 負傷者あり (名) <input type="checkbox"/> 被害なし 被害状況の詳細
建物被害の状況	<input type="checkbox"/> 重大な被害あり <input type="checkbox"/> 軽微な被害あり <input type="checkbox"/> 被害なし 被害状況の詳細
断水の状況	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
停電の状況	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
飲料水・食料の状況	<input type="checkbox"/> 定期的に充分確保できている <input type="checkbox"/> 2~3日以上確保している <input type="checkbox"/> 2~3日以上確保している、その後は支障がある <input type="checkbox"/> 今日の確保にも支障がある
生活用水の状況	<input type="checkbox"/> 定期的に充分確保できている <input type="checkbox"/> 2~3日以上確保している <input type="checkbox"/> 2~3日以上確保している、その後は支障がある <input type="checkbox"/> 今日の確保にも支障がある
支援の要否	<input type="checkbox"/> 要 () <input type="checkbox"/> 不要

電話・FAXが使用できない場合は持参して下さい。連絡先の電話は毎年更新して下さい

連絡先 六ツ美南部学区災害対策本部 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
 六ツ美南部小学校 TEL : 0564-43-2105 FAX : 0564-43-1370

C : 指定避難所レイアウト例



マニュアル関連資料（過去の活動履歴）

- N04 防災ガイドブック(緑色)説明ガイド 20190609
- N05 災害に強い町づくり委員会活動成果 20210228
- N06 学区災害対策本部行動マニュアル勉強のポイント 20210511
- N07 防災委員会2021(R3)年度活動報告 20220208**
- N08 学区災害対策本部行動マニュアル説明ガイド 20230627
- N09a 学区災害対策本部行動マニュアル説明PPT 20230702
- N09c 学区災害対策本部行動マニュアル説明PPT 20230808rev2**
- N10 防災訓練関連ステッカA4横 20221102
- N11 防災訓練指定避難所レイアウト 2023708
- N12 令和4(2022)年度防災訓練概要 20221113
- N13 令和4(2022)年度防災訓練計画タイムチャート 20221113
- N14 令和4(2022)年度防災訓練詳細 20230711rev2



令和3年度防災委員会の主な活動事例

令和4年1月11日

- 学区行動マニュアルの勉強会(5月)
【有事の際の行動内容を理解する】
・本部班・・・本部開設、各町被害状況を市報告、マンホールトイレ設置
・避難所班・・・小学校に避難所を開設して家を無くした人を受け入れる
・警防・救護班・・・被害状況の把握、支援依頼、炊き出し (参加21人)



- 防災模擬訓練(10月、11月)
【各班毎に優先事項を訓練実施】
①本部班「マンホールトイレ設置」 ②避難所班「シートテント設置」 ③警防救護班「照明備品」





- 防災備品整備(9月、11月)
(3-1) 市の補助金活用(25万円)
①隊員のゼッケン、帽子(48着) ②ハルーン型照明(2基)





- 学区防災補助金活用(7.5万円)
①各班毎に備品、文具類を収納 ②社教備品倉庫「C」に保管




- 各種帳票類(7月、10月、11月)
①作成した表示資料 ②岡崎市で作成された帳票を利用する資料





AI Consultant

六ツ美南部学区
災害対策本部行動マニュアル

All Rights Reserved. Copyright (C) Akira Shibata 2023-08-01



災害対策本部行動マニュアル 目次1頁

- 1 はじめに
 - 1-1 狙い・目的
 - 1-2 想定
 - 1-3 本マニュアル作成上の前提
 - 1-4 本部隊員の権限
- 2 災害時の行動手順編
 - 2-1 地震災害時
 - 2-1-1 本部開設・運用行動手順
 - (1)初動時の対応 (2)開設後の対応
 - 2-1-2 警防班・救護班の役割
 - 2-1-3 救護所班の役割と手順
 - (1)避難所係の役割 (2)救護所係の支援手順 (3)児童係の支援手順
 - 2-1-4 児童係の支援行動手順
 - 2-2 風水害時
 - 2-2-1 本部の行動手順
 - (1)風水害発生前 (2)風水害後
 - 2-2-2 民間事業所の避難所
- 3 平常時の準備編
 - 3-1 震災時の準備
 - 3-1-1 本部開設・運用
 - 3-1-2 警防班、救護班の準備
 - 3-1-3 救護所班の準備
 - (1)避難所係の準備 (2)救護所係の準備 (3)児童係の準備
 - 3-2 風水害時の準備
 - 3-2-1 風水害時の本部の準備
 - (1)風水害発生前 (2)風水害発生後
 - 3-3 学区防災訓練
 - 3-3-1 防災訓練の実施
 - (1)通年の防災訓練 (2)六ツ美4学区代表の防災訓練
 - 3-3-2 学区防災訓練の平常時の準備
 - (1)防災計画中期計画作成 (2)詳細計画と調達計画作成 (3)防災訓練後のマニュアル検証・改廃
 - 3-4 防災推進体制
 - 3-4-1 考え方
 - 3-4-2 推進体制
 - 3-4-3 担当業務

赤字：課題、解決されていない

地震災害時
地震災害時を主体に記載してある

風水害時
水害(矢作川決壊)時は全町水没するため個人の判断で高台(上地町など)に避難。ここでは説明しない。

防災訓練を記載、防災訓練後、マニュアル検証・改廃

防災委員会の設立

はじめに/災害時の行動手順 1章2頁

1-2 想定:

「災害後7日間は行政の支援なし、消防車・救急車も来ない、電気と上下水道、通信が機能しない」という想定の下、本部の行動を示す

公助は期待しない

1-3-③ 公的支援:

災害後7日間は公的支援(食料、救急車、消防車)が無い

1-3-⑧ 地震・水害の定量的被害想定:

・地震時、重傷者50人～105人、軽症者1050人 ・倒壊家屋1050棟 ・延焼建物500棟

(参照: 防災ガイドブック(緑色表紙)の4頁)

(参照: 小学校区別防災カルテ 六ツ美南部小学校区 2015、南海トラフ地震被害予測調査報告書 2015)

避難所利用者2000～3000人の可能性有り(体育館には73家族146人しか避難できない。各町の容量は?)

・矢作川氾濫時、浸水高さ3m～10m (参照: 岡崎市水害対応ガイドブック)

・広田川、安藤川、占部川氾濫時、浸水高さ0.5m～3m (参照: 岡崎市水害対応ガイドブック)

1-4 本部隊員の権限:

①本部隊員は役割任務遂行上の人事権、指示命令権を有する

各町防ぎょ隊への指示命令、避難者などの住民への指示命令権を有する

②学区住民は本部隊員の役割任務遂行への協力を担う

総代会OB、社教OB、地域各種団体経験者は協力する

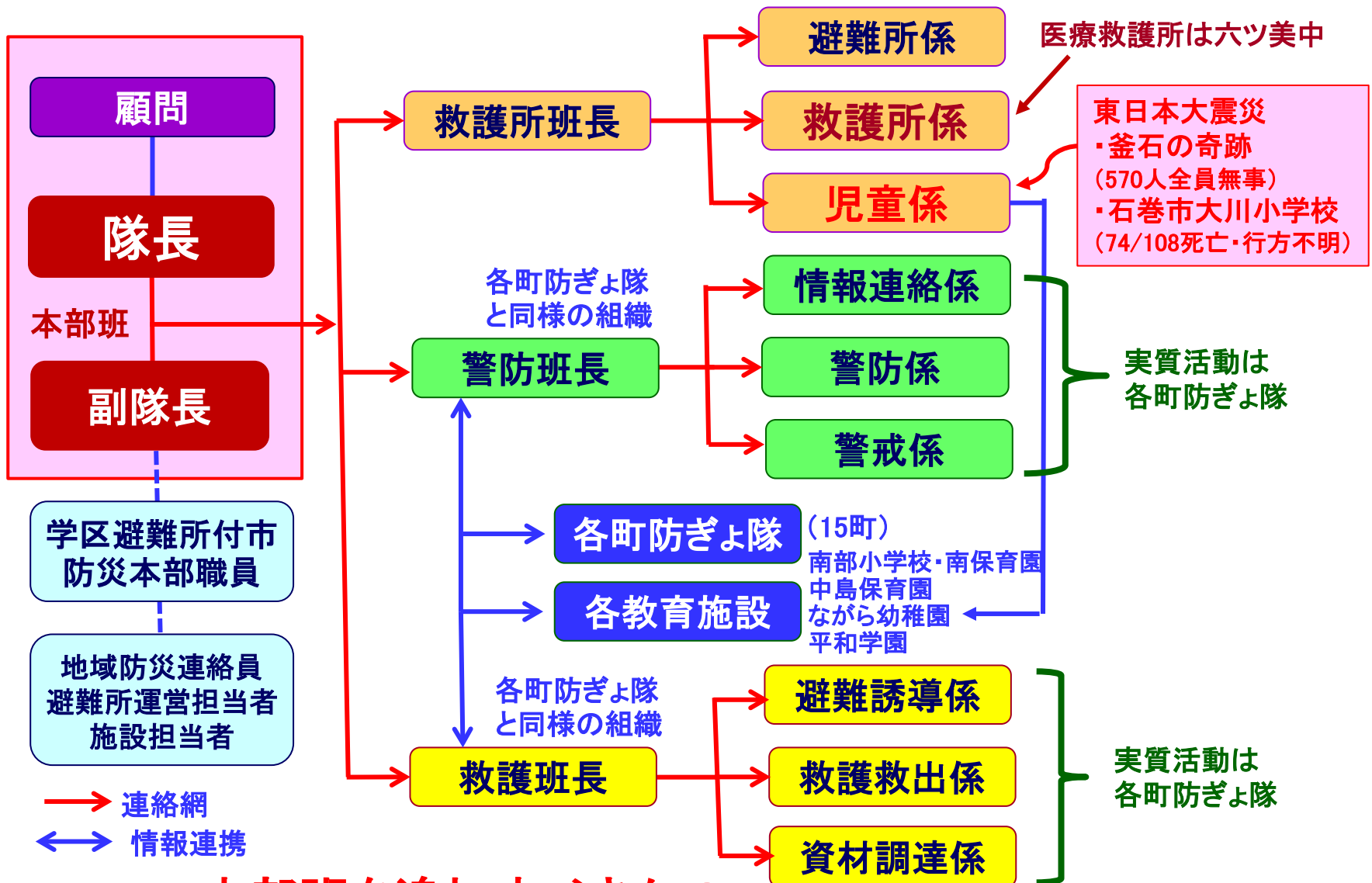
任務遂行への協力義務

2-1-1 本部開設・運営手順:

①本部隊員の招集: 招集者は本部隊長(総代会会長)

②本部開設: 震度5強以上の地震で3時間以内(目標)に六ツ美南部小学校に開設

本部組織と連絡網 2章3頁



本部班を追加すべきか？

本部隊員の招集 2章4頁

区分	役職	正隊員	副隊員	予備隊員
本部班	隊長	総代会会長		
	副隊長	総代会副会長	前総代会副会長 2代前総代会副会長 3代前総代会副会長 防災担当委員 消防署員OB	
	顧問	小学校校長		
救護所班	救護所班長	社教委員長	前社教委員長 前総代会会長	2代前社教委員長 3代前社教委員長
	避難所係長	福祉委員会委員長	前福祉委員会委員長 2代前総代会会長 3代前総代会会長 防災担当委員 女性部部长 前女性部部长	2代前女性部部长 防災士資格所有者 防災担当委員OB
	救護所係長	自主防災クラブ部長	前自主防災クラブ部長	2代前自主防災クラブ部長
	児童係長	小学校PTA会長	小学校同窓会会長	前小学校PTA会長 前小学校同窓会会長
警防救護班	警防班長	総代会書記	前総代会書記 2代前総代会書記 3代前総代会書記	消防団3部部长 消防署職員OB 防災士資格所有者
	救護班長	総代会会計	前総代会会計 2代前総代会会計 3代前総代会会計 防災担当委員	防災士資格所有者 防災担当委員OB

マニュアルとは区分・順序が異なる

不在、事故などを想定して3人体制(隊長は?)

警防班・救護班の役割 2章5頁

班	係	役割
警防班	情報連絡係	<ul style="list-style-type: none"> 各町被災・被災者情報の収集(添付資料A) 岡崎市への報告・市からの情報伝達(添付資料A) 救援物資要請情報収集と市への申請(各町と連携)
	警防係	<ul style="list-style-type: none"> 火災防止のための情報交換(通電火災防止など) 各町の初期消火状況・火災情報の把握
	警戒係	<ul style="list-style-type: none"> 各町へ窃盗被害防止の巡回指示(各町の警戒係と連携) 防災機関など(警察など)への協力要請
救護班	避難誘導係	<ul style="list-style-type: none"> <u>救護所班の避難所係に編入し活動</u> 駐車場の交通整理
	救護・救出係	<ul style="list-style-type: none"> <u>救護所班に編入し活動(応急手当の実施)</u>
	資材調達係	<ul style="list-style-type: none"> 炊き出しの実施(避難所係の食糧・物資班と連携) 救援物資の受け入れ・分配(情報連絡係と連携)

各町災害
防ぎよ隊と
同じ構成

救護所は中学校に開設。小学校は不要？

現場での実際の活動は、各町災害防ぎよ隊による
学区災害対策本部では各町との情報交換、支援要請に
対応する

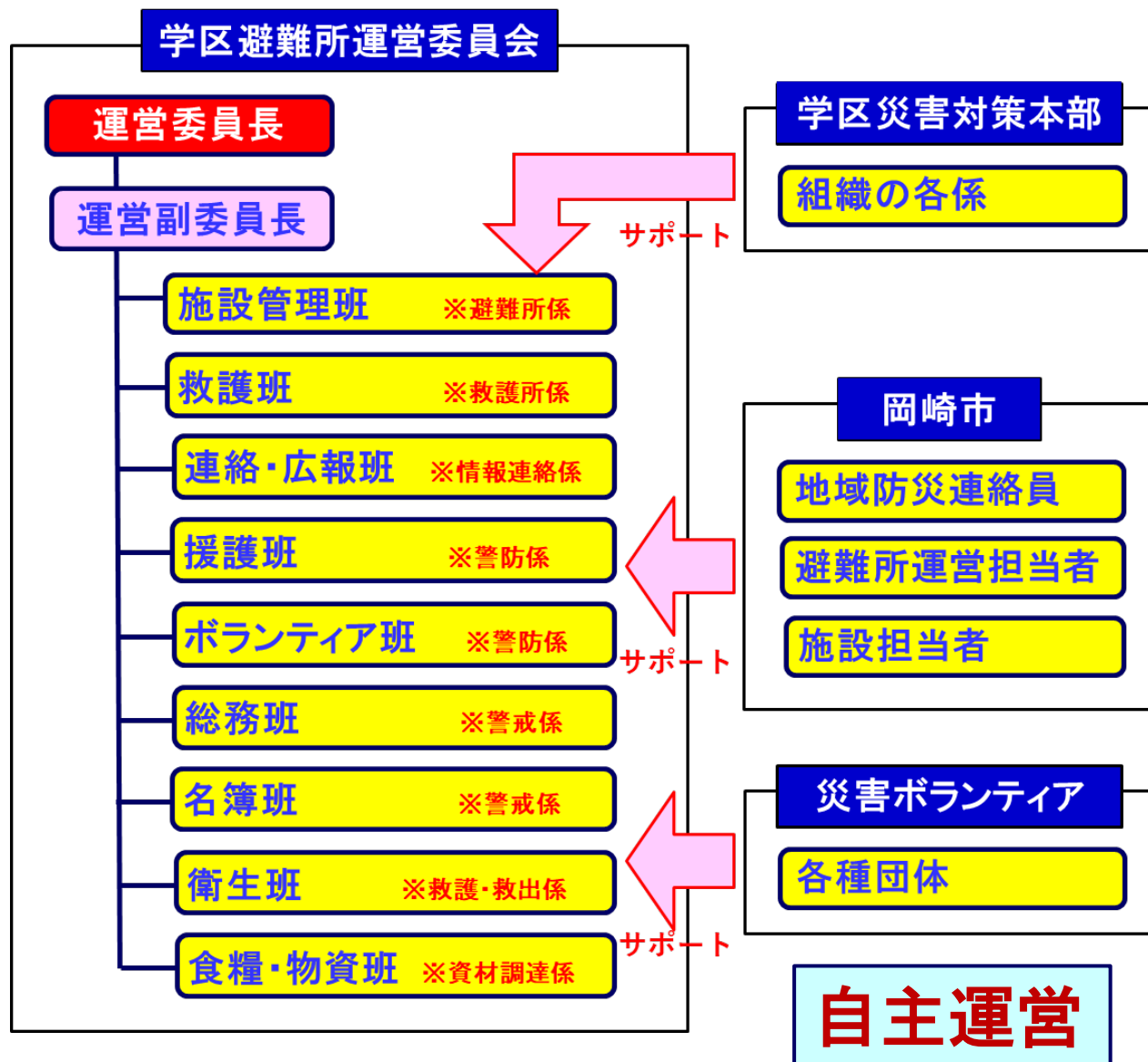
救護所班の役割 2章6頁～8頁

係	項目	行動内容
避難所係	指定避難所開設手順	<ul style="list-style-type: none"> ・本部と市の職員で開錠と避難者受け入れを準備 ・本部や市などの組織表、連絡網を掲示
	受け入れ準備	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所・周辺的安全確認 ・自動車の乗り入れの規制 ・避難者受け入れスペースの確保 ・ライフラインの確認 ・避難所開設機材・備品の搬出・設置 ・屋内外のレイアウトづくり ・共通遵守事項を各場所に掲示 ・避難者の受付 ・ペットを屋外の所定の所に係留
	受け入れ開始	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者名簿の番号順に入場 ・病人、妊産婦、乳幼児家族、要支援者はそれぞれの部屋へ入場 ・小学校が一杯に成った場合、市民ホーム、こどもの家へ避難 ・避難者名簿を集計、本部から市へ報告
	避難所運営委員会設置	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎市避難所運営担当者により運営委員会設置 ・避難者で役割担当を担い組織
救護所係		<ul style="list-style-type: none"> ・六ツ美中学校に開設する医療救護所との連携 ・各町の負傷者は各町で支援して直接、医療救護所へ行く
児童係		<ul style="list-style-type: none"> ・児童係受付場所設置

小学校: 体育館に73家族146人避難、1教室8ブロック16人避難
 市民ホーム: 和室9家族18人、2階ホール17家族34人
 こどもの家: レクリエーション室55家族110人

指定避難所の開設

避難所運営委員会の組織 2章8頁～10頁



平常時の準備編：震災時の準備 3章13頁～15頁

部署		準備内容
本部班		<ul style="list-style-type: none"> ・組織図と連絡網の作成印刷と配布 ・小学校の校舎、体育館、グラウンドのレイアウト図の作成印刷と更新 ・被害報告書の作成印刷 ・必要な機材・備品一覧表作成印刷、保管と定期点検 ・活動予算の確保
警防班	情報連絡係	・市への申請書作成印刷
	警防係	・火災関連の被害状況収集帳票作成印刷
	警戒係	・窃盗・盗難関連の被害状況収集帳票作成印刷
救護班	避難誘導係	・駐車場案内の看板、パネルなどの作成
	救護・救出係	・備品リスト(応急手当)作成印刷と備品の整備点検
	資材調達係	<ul style="list-style-type: none"> ・各町からの救援物資申告書作成印刷 ・炊き出し用の機材・備品の調達方法を決めておく ・食料品の調達方法を決めておく
救護所班	避難所係	<ul style="list-style-type: none"> ・看板・ビラの作成印刷 ・ロープ・三角コーンなどの備品の購入準備 ・避難所関連帳票の作成印刷 ・レイアウト図の作成印刷
	救護所係	医療救護所は六ツ美中学校に開設されるので準備はなし
	児童係	小学校、幼稚園、保育園、平和学園と個別に災害時支援を協議し文書化

レイアウト図作成
帳票類作成・印刷
看板・ビラ作成・印刷
備品調達・保管

避難所運営ゲーム 3章15頁

避難所運営ゲーム(HUG)とは

「Hinanzyo Unei Game」の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味です。参加者が避難所運営の担当者となり、性別や被災程度など被災者の実情に即して適切な処置(配置)を行う。避難所の出来事に対応する疑似体験もできる。防災意識を高めるほか、正解のない課題について話し合い、限られた資源や情報の中で判断する力も身につくという。



学区防災訓練 3章18頁～19頁

防災訓練の実施

防災訓練の内容

- ・本部隊員全員へ**本マニュアルの説明会開催**
- ・本部の開設・運用訓練
- ・指定避難所開設支援訓練(**避難所運営ゲーム含む**)
- ・**学区防災倉庫備品の点検**
- ・各町防ぎょ隊と連携した訓練



平常時の準備

準備の内容

防災中期計画作成	<ul style="list-style-type: none"> ・本部開設と各町防ぎょ隊支援、指定避難所開設支援について社教団体、小学校と連携した4年単位の訓練計画を立案 ・本部単独、または各町防ぎょ隊と連携した訓練計画を立案 ・六ツ美4学区総合訓練の訓練計画立案
詳細計画と調達計画作成	<ul style="list-style-type: none"> ・本マニュアルについての説明会(勉強会)計画立案 ・本部組織の開設・運用訓練計画立案 ・指定避難所開設支援訓練計画立案 ・学区防災倉庫備品の点検・更新・購入手配 ・訓練終了後、購入手配品・更新手配品の申請書作成し手配を実施
マニュアル検証・改廃	<ul style="list-style-type: none"> ・本マニュアルを検証して改廃作業を実施 ・次の訓練計画に検証内容を反映

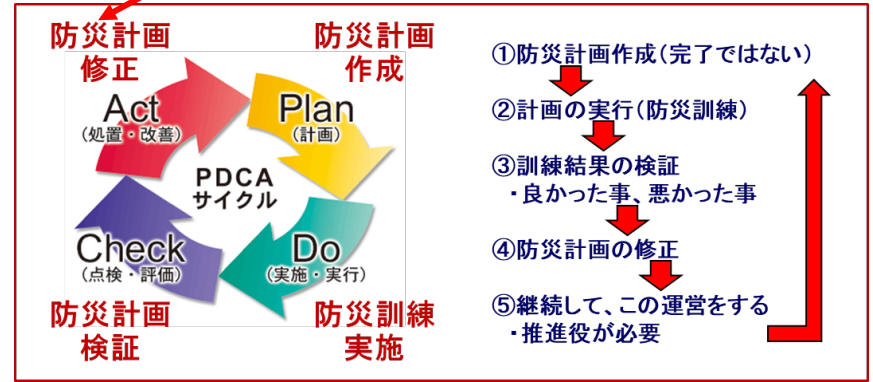
計画立案

防災推進体制 3章20頁

本マニュアルを継続的に見直し・メンテナンスする体制を学区内に構築

- ・学区の組織内に防災推進体制として「防災委員会」を作る
- ・防災委員会委員は構成団体のいずれも原則、3地区から1名ずつ選出する
(3地区: 占部地区、中島東地区、中島西地区)
- ・総会は年1回程度開催、委員会は随時開催

未実施



ご清聴、ありがとうございました。

[Https://www.Shibata-lirary.com](https://www.Shibata-lirary.com)

柴田 彰